

樹の香り漂う木造校舎

中学校建築設計案

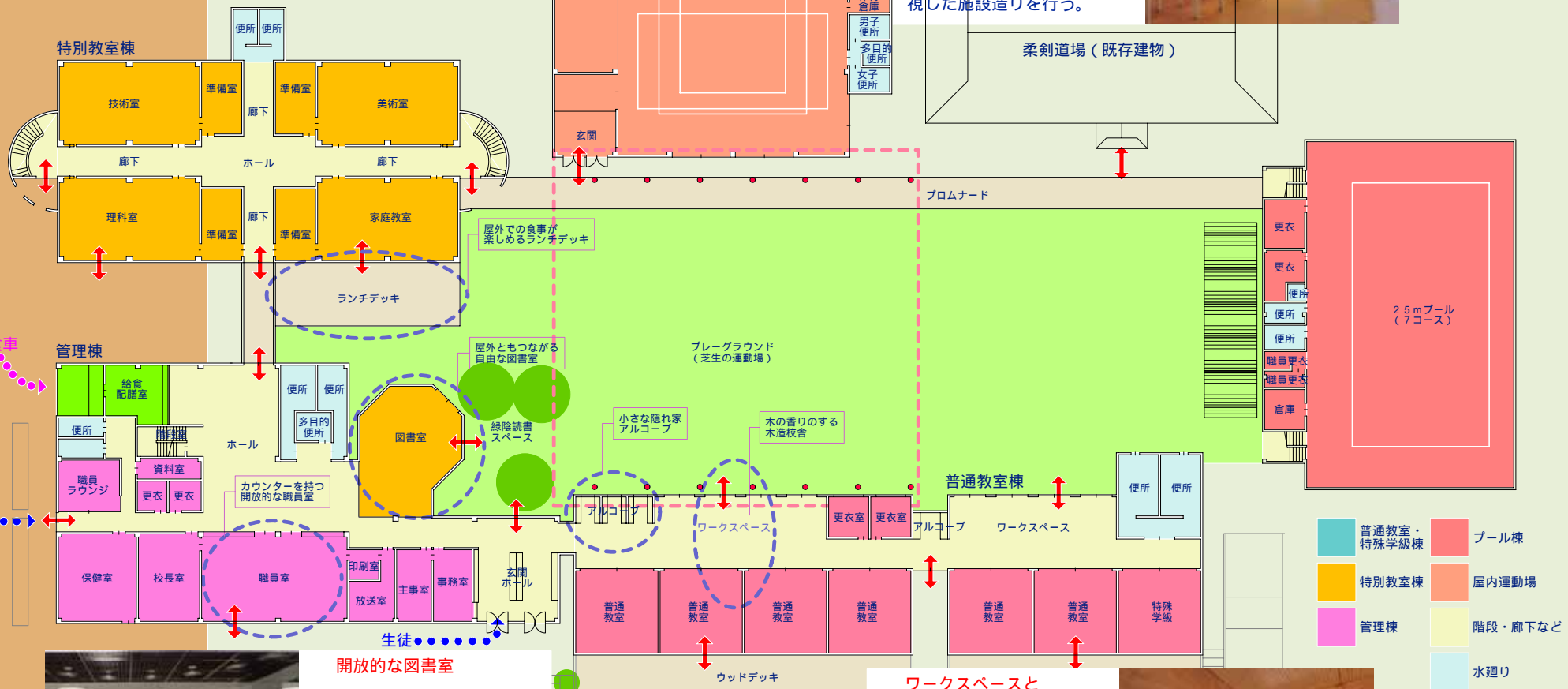


ランチテラスとつながる家庭教室

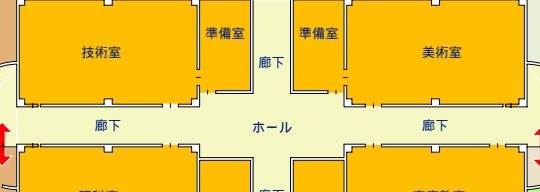
特別棟は単に授業のためだけではなく、例えば家庭教室では屋外で料理を試食したり、自分達が作った作品などの展示会なども考えられる。
屋外に計画するランチテラスは地域に開放し、交流の場として利用され、中庭側からのステージとしても使える。
家庭科教室の器具も使いやすいL字型の調理器具とする。

平面計画：屋外空間との連携

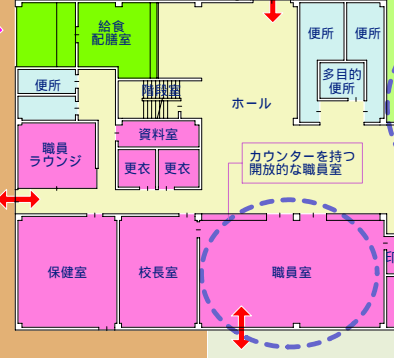
居心地のよい場所は、快適であり、子供たちが自分の居場所と考えられるような、学校(場所)の提案を考える。それは、学習の場を考えるだけでなく子供社会の多様なコミュニケーションの場を提案することを考えたい。
室内空間だけの学校ではなく屋外空間とのつながりを重視した施設造りを行う。



特別教室棟



管理棟



開放的な図書室

校舎の中心に位置する図書室は、開放的は教室とする。自由に腰掛開放的な雰囲気を作り出すために、書架は低いものを使う。また、構造を木造とすることにより、子供たちに親しまれる図書室となる。木の柔らかさや匂いが子供たちに与える影響は、情操的にも良い効果があると考えられる。



ワークスペースとアルコーブ

子供たちが自分にとっての"好きな場所"ができるように、多様な"場所"、たとえばアルコーブや中庭・ウッドデッキを計画する。ワークスペースに、アルコーブを備えていることで、子供たちの居場所を作り安らげる場を子供たちのスケールで提案する。
屋外の空間とつながりを持たせることは、授業を行う上でも多様な可能性が生まれる。



1階平面図
1 : 400
03